

有機JAS対応資材

光合成細菌使用

菌の力®

「菌の力®」は有機物分解能力に優れた特別な光合成細菌を含んだ菌体資材です。従来の菌体資材と違い、安全で簡単に扱うことを可能にしました。病んだ土壌の再生や連作障害の改善、生産物の生長促進と品質向上に効果を発揮します。

「菌の力®」は安心安全の品質管理

一斉分析662農薬不検出。
重金属10項目環境基準クリア。



「菌の力®」検査成績書

(株)キューサイ分析研究所調べ

特徴

- 光合成細菌が土中に投入されると拮抗作用で、連作障害の原因となる有害菌の増殖抑制が期待できます。
- 有機物の分解能力が高いため、土中の未熟有機物を急速に腐植化し、植物の生長を促進します。
- 含まれるアミノ酸による植物の品質向上が期待できます。
- 使用期限もなく無臭です。圃場の悪臭改善にもご使用できます。

使い方

- 土づくりの時から収穫まで、500倍希釈液を1~2週間に1回、土壌や植物に十分灌水して下さい。播種や定植後の作物に対して、株元へのスポット施用が経済的にもお勧めです。また、どの時期からでも使用できます。
- 使用量の目安は反当り、希釈液が300ℓです(坪当り1ℓ)。基本的に土壌や作物に対し反当り原液1ℓ程度が十分行きわたるよう希釈水を調整して下さい。
- 光合成細菌が増殖するには有機物を必要としますので、堆肥や米糠、油粕、骨粉等の有機物との併用をおすすめします。

標準希釈
500倍



規格: 100cc ・ 500cc ・ 1L ・ 5L ・ 10L ・ 20L

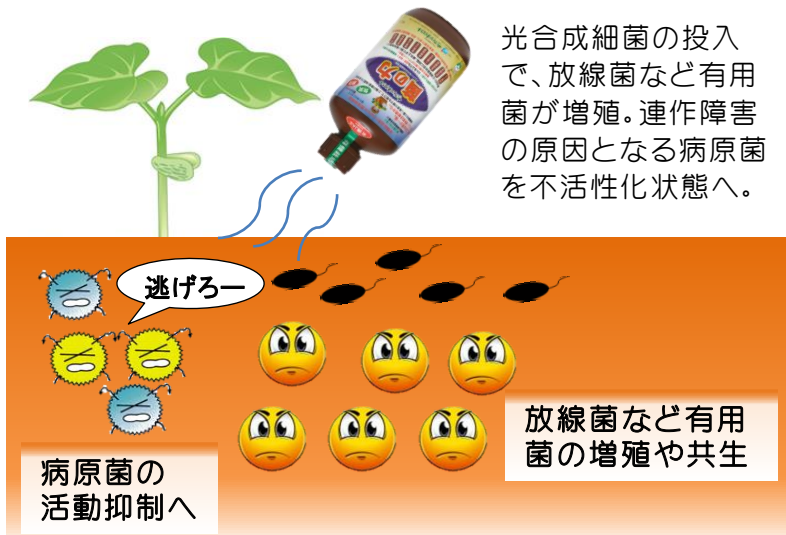
小売価格(税別): 100cc/680円 500cc/1,910円 1L/3,600円
5L/12,000円 10L/20,500円 20L/37,800円

※価格は2015年8月現在

菌の力[®]を使うとどうなるの？なぜそうなるの？

① 連作障害の防止 土壌病害菌の抑制、減少

光合成細菌は連作障害の原因となる病原菌の活動を抑制する効果があります。放線菌が増殖し、放線菌の働きにより病原菌を溶菌する効果もあります。また、光合成細菌が土壌中の硝酸を分解し、塩類集積土壌を蘇生活性化します。



② 植物の免疫力、糖度、 栄養価、鮮度の向上

菌体はキチン質とアミノ酸でできています。キチン質とはカニ殻肥料などに含まれることで有名な物質です。キチン質が植物を刺激し植物からキチナーゼという酵素を分泌させることにより植物の免疫力が向上します。だから、病害虫に強い作物になります。そしてアミノ酸の効果により糖度・栄養価の高い高品質な作物が収穫できます。

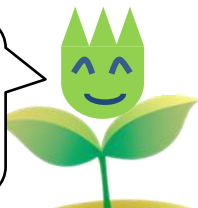


菌の力[®]を使うとどうなるの？なぜそうなるの？

③ 完熟堆肥など有機物と併用して土壌を肥沃化に

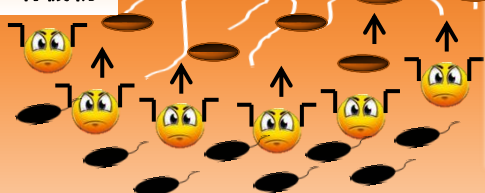
植物にとって有用微生物が多い土は、植物本来の成長機能を最大限に発揮させることができます。光合成細菌は堆肥などに多い好奇的有機栄養細菌と共生することによって、その繁殖や活動が著しく促進されます。そのような条件の元「植物に最適な土」を作ることができ、それは作物の品質に表れます。

養分が吸収しやすくなったよー。土もフカフカで根も伸び伸び！



- ・土の中の有機物を分解・肥料化！
- ・畑の腐植化を促進。土が団粒化しフカフカに!!

有機物



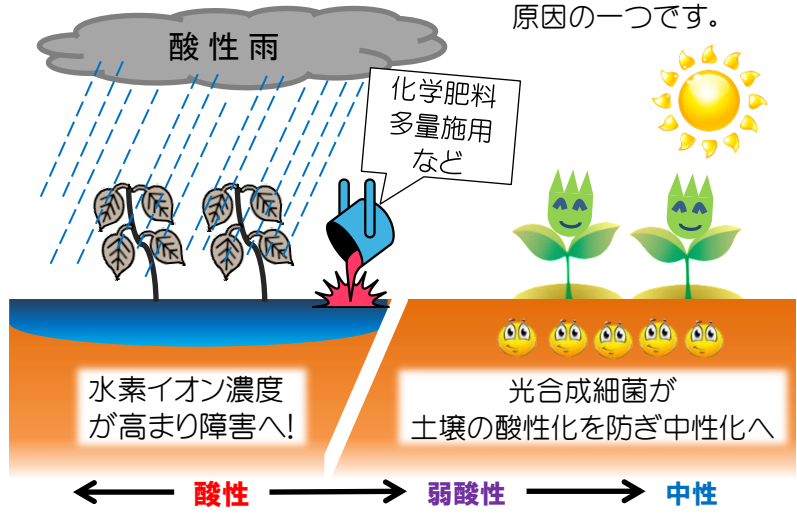
有用菌が土の中の有機物をどんどん分解・腐植化して植物が養分を吸収しやすい！

光合成細菌と各種有用菌が共生

④ 土壌の酸性化を防止、塩基障害を軽減

高い有機物分解能力で、過剰施肥による障害を軽減します。亜硝酸態窒素の残留等の問題も菌の分解能力で除去して、電気伝導度(EC)を低下させ、特にハウス栽培での塩基障害の軽減が期待できます。菌体の特性により、酸性化に傾いた土壌を中性化する力があります。

・酸性土壌は連作障害原因の一つです。



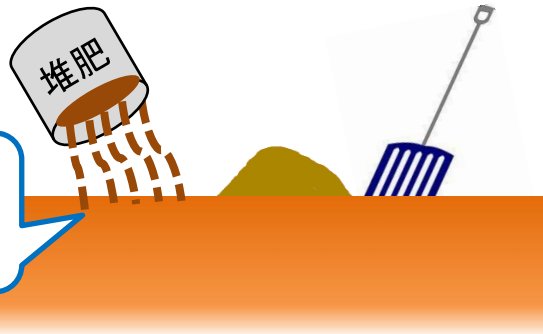
菌の力 かんたん使用法

使用法① ～土づくりから～

種や苗を植付ける約一週間前に
堆肥(牛糞など)や元肥を土と一緒に
混ぜ、よく耕します。

ポイント

堆肥などの有機物が有用微生物が土壌で増殖するためのエサになります。



「菌の力」
500倍希釈

よく耕したら「菌の力」500倍希釈液を
1坪あたり 1～2リットル(原液2～4ml)
たっぷり与えます。

ポイント

すき込まなくても大丈夫。
土壌全体に
灌水して下さい。



一週間後、種まきや苗を植付けたら、
「菌の力」500倍希釈液を水やりのよう
にたっぷり与えます。その後は
作物の様子を見ながら、1～2週間に1回、
収穫まで3～4回ほど与えましょう。

ポイント

植物全体に散布
することで、植物
の成長と免疫力
が向上します。



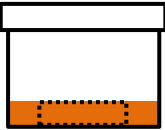








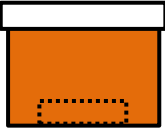


使用法② ～植付後から～

すでに植付が終わっている場合
は一週間毎に2回ほど「菌の力」
500倍希釈液を与えて様子
をみましょう。「菌の力」は
どの生育ステージから
でも使用できます。



菌の力 500倍希釈液の目安（家庭菜園向け）

希釈液量	原液量	キャップ目安 (500ml・1Lボトル共通)
2ℓ ジョーロの場合 	4ml 	 キャップ内部 突出し面まで
4ℓ ジョーロの場合 	8ml 	 キャップ全体 の約1/3程度
6ℓ ジョーロの場合 	12ml 	 キャップ全体 の半分程
10ℓ ジョーロの場合 	20ml 	 キャップ内側 フチ一杯まで

広さによる施用量の目安	希釈液量 (500倍)	原液量
1坪 当たり(1.8m×1.8m)	1 ℓ	2 ml
1反(10a) 当たり(31.5m×31.5m)	300 ℓ	600 ml
1町(1ha) 当たり(100m×100m)	3,000 ℓ	6 ℓ

◎土づくりの時から収穫まで500倍～1,000倍希釈液を1～2週間に1回、土壌や植物に十分灌水、葉面散布して下さい。
定植後の植物には株元のスポット施用が経済的にもお勧めです。また、どの時期からでもご使用いただけます。

◎殺菌剤との混用はできません。殺菌剤や除草剤を使う場合は前後1週間程度あけて使用して下さい。他の液肥や殺虫剤との混用は可能ですが、できれば単用施用がお勧めです。